

令和5年度 第1回桐生市総合戦略推進委員会 議事要旨

○日 時 令和5年7月7日（金）午後7時00分～午後8時30分
○場 所 美喜仁桐生文化会館 スカイホールA
○出席者 25名

【委員】19名

委員長：	群馬大学 副学長・大学院理工学府 教授	板橋 英之
副委員長：	桐生市総合計画審議会 副会長職経験者	新居 理恵
委員：	桐生商工会議所 会頭	粂山 和久
	桐生商店連盟協同組合 副理事長	茂木 理亨
	桐生市農業委員会 会長	今泉 芳雄
	桐生広域森林組合 参事	栗原 和人
	群馬県桐生みどり振興局 局長	尾内 文彦
	桐生市立商業高等学校 校長	林 順一
	桐生信用金庫 専務理事	松島 修
	足利銀行 桐生ブロック統括支店長	大谷 章喜
	群馬銀行 桐生支店長兼桐生南支店長兼あいおい支店長	島田 直樹
	桐生公共職業安定所 所長	久保田 政夫
	(株)桐生タイムス社 取締役事業推進室長	小澤 義明
	桐生市社会福祉協議会 常務理事	大木 茂雄
	(一社)きりゅう市民活動推進ネットワーク 理事長	近藤 圭子
	NPO法人キッズバレイ 代表理事	星野 麻実
	桐生市PTA連絡協議会 会長	猪俣 真也
	桐生市婦人団体連絡協議会 体育振興部担当	間中 一枝
	2015年からの生活交通をつくる会 会長	佐羽 宏之
<欠席者>		
	桐生刺繍商工業協同組合 会計理事	松平 朋憲
	桐生市区長連絡協議会 会長	茂木 新司
	桐生市医師会 理事	東郷 望
	一般社団法人桐生青年会議所 直前理事長	深澤 佑太

【桐生市】6名

市長	荒木 恵司
副市長	森山 享大
<事務局>桐生市共創企画部長	西條 敦史
桐生市共創企画部企画課長	橋本 頼孝
桐生市共創企画部企画課企画戦略担当係長	森下 英明
桐生市共創企画部企画課企画戦略担当	伊藤 美和子

○報道関係 なし

○傍聴者 なし

○会議内容

1 開 会 [開始：午後 7 時 0 0 分]

- ・事務局から、全員の委員の出席により会議が成立することを報告。

2 挨 拶

- ・荒木市長から挨拶。

3 議 題

(1) 令和 5 年度総合戦略事業の概要について

- ・資料 1 から 5 に基づき、事務局から説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

委員長	資料ごとに質問を受け付ける。 まず、資料 1 について意見がある方は挙手をお願いしたい。
	意見なし
委員長	では、次に資料 2 から 5 までの令和 5 年度総合戦略事業について、基本目標ごとに区切りながら順次ご意見を伺いたい。 まず、「基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する」について、いかがか。
委員	桐生地方卸売市場の余剰地にスーパーが入ることになり、市議会においても承認されたようだが、商店街の活性化を推進していくとしている一方で、地域の付加価値を市外に流出させてしまうような施設を誘致することは、総合戦略の趣旨と矛盾しているので成果が上がらないのではないか。計画に則った取組をしていただきたい。
事務局 (部長)	市場の場所はみどり市なので、商店街と離れていることから、影響は全くないとは言えないが、大きな影響はないと考えられる。
委員	桐生市民は多くの人がマイカーを所有していて、新しいお店ができればそこに行くのは自然な流れだと思う。桐生市周辺にもスーパーやショッピングモールができていて、桐生市民が太田や伊勢崎に買い物に行っているので、影響がないというのは間違いであると思う。また、スーパー同士も商圈の奪い合いが起きているという状況も認識していかなければならない。 余剰地が出たのなら、居住スペースや新たな学校の誘致など、人口減少対策に資するものをもう少し考えてほしかったと思っている。
事務局 (部長)	委員のおっしゃるとおり、市民が太田や伊勢崎のショッピングモールに買い物に行くようなことが起きていることは確かである。しかしながら、今般の場合は起こったとしても一時的であり、長い目で見れば商店街に大きな影響を及ぼすことはないと考えられる。

委員	「桐生市コンパクトシティ計画」の趣旨を理解しているのか疑問である。海外では、「１０分シティ」や「１５分シティ」といって、まちの中心部から端まで歩いて１０分から１５分程度の規模のコンパクトシティ化を進めていくという流れがある。桐生市も計画としてしっかり認識を図る必要があると思う。
委員長	委員のおっしゃるとおり、桐生市もコンパクトシティを目指していく中で、中心市街地の活性化を主眼に置いて色々な施策を練っていただきたい。 今後もそういったことがあるならば、委員がおっしゃったように、競合するものではなく桐生市の活性化につながるものにしてほしい。
委員	取組全体を見て思うことだが、最上位計画である「桐生市第六次総合計画」の将来都市像「感性育み 未来織りなす 粋なまち桐生」の「感性」や「粋」の部分が感じられない。 市場の余剰地も、スーパーではなくて例えば美術館など、感性を育む施設のような方向性で考えた方がいいのではないかと思った。
事務局 (部長)	重ねて申し上げるが、市場の土地は、隣接しているとはいえみどり市にあることをご理解いただきたい。
副市長	補足させていただく。５０号沿いで立地が良く、市の財産を有効活用できるということで、プロポーザルでスーパーに決定した。年間約６，５００万円の家賃収入が今後得られること、また、約１８０人の新規雇用のご提案をいただき、本市にとって有益な活用になると総合的に判断し、このスーパーに決定した。
委員	もう決まったことなので仕方がないが、個人的にはみどり市と合併した後の庁舎を建てるべきだったと思う。また、財政状況が厳しいのは分かるが、だからといってスーパーにするのではなく、「桐生らしさ」、「感性を育む」ということを大切にしてほしい。
委員長	今後そのようなことがあったときは、本日の議論を踏まえて上手く活用していただきたい。
委員	森林環境譲与税が国から配分されており、桐生市産木材で作った夫婦箸などもこの税を活用していると思うが、他にも色々な活用方法を考えていただきたい。例えば、今政府が花粉症問題を取り上げているが、戦後植えたスギの年数が経っている状態で、材木の価格も安定していないので、なかなか切れない状況である中、末期のスギを皆伐して無花粉スギを植えることもできる。譲与税は、森林の面積、人口、林業就業者数で配分額が算定され、桐生市は群馬県の中でも多い方だと思うので、是非基金として貯めることなく、有効な使い道を考えていただければと思う。

事務局 (部長)	担当課へつなぎたい。
委員長	東京都は人口が多いため配分額も大きいですが、実際には使い道がなく基金に積み立てるしかないと聞いている。そこで、例えば、桐生市は大田区と連携しているので、桐生市産木材を使ってもらうなどの形で何か連携できるといい。 それでは、他にご意見等がなければ基本目標 2 に移りたい。
委員	インバウンドが回復してきているが、インバウンドの誘致に向けて今後何か考えている取組があるのか。
市長	まちなかでは、土日は家族連れがまち歩きをして賑わい創出が少しずつ図られているが、平日の賑わい創出が課題である。そこで、インバウンドをターゲットにしたいと考えている。外国人の方は、曜日関係なく 3～4 日間滞在することが多く、また、海外から仕事で来ている外国人の方も、平日の中で 1～2 日は休みがあると言われているので、このような状況を生かしてまいりたい。 また、桐生市は繊維産地であり、特にアジアの女性がシルクに興味を持っており、お金をたくさん落としていただけると聞いているので、インバウンドの中でもアジアの女性にターゲットを絞って今後取組を推進してまいりたい。
委員長	今、日本の田舎暮らしを見たいという外国人が増えてきており、その点で桐生市はとても強いと思うので、ぜひ活用しながら取り組んでももらいたい。
委員	インバウンドに桐生に来てもらうには、特色が必要だと思っている。桐生市の特色といえば神業、ものづくりであり、これを実際に見学・体験できるオープンファクトリーという形で、桐生市に補助金をいただきながらやっている。また、桐生天満宮などの歴史や文化を絡めながらインバウンドを呼び込みたいと商工会議所では考えている。
委員	観光については、どんなに観光資源があっても、来た人が宿泊して滞在しないと経済効果はないと思う。桐生市にはビジネスホテルはいくつかあるが、それではインバウンドは魅力を感じないと思う。近年、民泊が注目されていて、市内にも少しずつできているが、古民家をリノベーションして民泊にするなど、もっと民泊を全面に打ち出して人を呼ぶといいと思う。そうすると、インバウンドの方は何泊もするので、桐生を拠点に各地へ観光に行くということもあるかもしれないので、民泊を増やすような取組をしていただけたら有り難い。
事務局 (部長)	担当課へつなぎたい。
委員長	おそらくまだ眠っている資源が沢山あると思うので、是非宿泊施設とした活用できるようにお願いしたい。

委員	近年は、泊るところと食べる所は別になるという傾向があり、商工会議所の計画では、宿泊は桐生で、食事は他の場所であるというようなことも盛り込んで進めていこうとしているところである。
委員長	続いて基本目標 3 ついて、何かご意見等はあるか。
委員	令和 8 年度から部活動が学校ではなく地域主体へと移行されることになっているが、民間のスポーツクラブに委託していくとなると、保護者が送迎する必要が生じるなど負担が大きく、市から何らかの助成やサポートがないと厳しいと思う。 また、近年は地球温暖化で、夏は異常な暑さが続いているが、小中学校は体育館に冷暖房がなく、冬は P T A の予算で買ったヒーターで何とかなっているが、夏は熱中症の危険性がある。小中学校の冷暖房の設置についてお願いしたい。
事務局 (部長)	担当課へ伝えたい。
委員	どうしたら桐生市に住んでもらえるかという、子育てしやすい環境ももちろんだが、教育が重要だと思う。現在小学校の統廃合の審議が進んでいると思うが、元々少ない小学生が、市外の小学校へどのくらい通っているのか行政は把握しているのか。この状況を真剣に捉え、むしろ他市から桐生に引っ張ってくるような魅力的な学校を考える必要があると思う。
副市長	市外の小学校に通う子どもの数は、以前教育委員会に投げかけ、正確な数はこの場では出ないが、一定数いることは把握している。保護者が子どもを通わせたくないような魅力的な小中学校の整備や教育の提供は大変重要だと考えているので、保護者の意見を聞きながら、共に創ってまいりたいと考えている。ご意見は教育委員会に伝えさせていただく。
委員	公立でできる範囲は限られており、私立で特徴を出しているというのが実情だと思うので、桐生市内にある明照学園や桐丘学園と密に協議しながら、小学校の新設などを考えてもいいのではないかなと思う。
委員	桐生市の昨年度における出生数は何人か。
事務局 (部長)	令和 4 年度の実績はまだ出ていないが、令和 3 年度はおよそ 4 2 0 人である。
委員	そうすると、小学生になった時に、3 0 人のクラスが市内全体で 1 4 クラスしかできず、球都と言っても野球部すら作れなくなってしまう。そういったことも考えてこれから取組を推進してほしい。 また、教育と同じく医療も同様に大切だと思っており、厚生病院がもっとどうにかできないかという声を周りから聞くので、質の向上に努めていただきたい。

市長	委員のおっしゃるとおり、桐生市には17の小学校があるにもかかわらず、クラス数が小学校の数以下になるという異常な事態が生じてしまう。そこで、学校適正配置基本方針を決定し、地元の方々に説明させていただく中で、今後の取組についても考えてまいりたい。 厚生病院については、新型コロナワクチンの集団接種でも大変お世話になり、医師の方々にも地域医療の発展に大変ご尽力いただいていることは理解いただきたい。
委員長	市外の学校へ行く理由としては、特色のある教育を提供しているからだと思われる。一方で、桐生市は児童・生徒数が少ない分厚い教育ができる。例えば、未来創生塾を全校で実施すれば特色が出て、桐生の学校へ通わせたい、桐生で子育てしたいと思うので、ぜひ今後開設予定の総合教育センターが中心となって考えていってほしい。
市長	委員長のおっしゃるとおり、学校の授業だけが教育ではない。 令和3年度から行っている「子どもがつくるまち ミニきりゅう」は、全国から視察が来たり、こども家庭庁からも見学させてほしいと声がかかったり、大変注目を集めている事業である。ミニきりゅうに参加したいという子どもたちが沢山いて、将来的には全国の子どもたちに来てもらえるようなものにしたいと考えている。 また、未来創生塾の中で、「観光ジュニアアンバサダー」という観光ガイドの育成を行っている。最近、食べ物やスポットではなくて人に会いに行く観光にシフトしてきている。未来創生塾の子どもが1年後にどうなっているのだろう、今度はどんなところを案内してくれるのだろうと、またリピートしてくれることになる。この取組を来創生塾から全小中学校へ波及させていきたい。 このようにして、学校の授業だけではなく、総合的な観点から桐生の特色ある教育を打ち出してまいりたいと考えている。
委員長	是非お願いしたい。 それでは基本目標4について、何かご意見等はあるか。
委員	重伝建コーディネーターを新たに設置とあるが、桐生市が目指している重伝建地区の姿とはどのようなものか。 また、おりひめバスモニター制度を新たに開始とあるが、その制度の狙いについてお伺いしたい。
事務局 (部長)	重伝建のご質問については、もう少し具体的にお聞かせ願いたい。 おりひめバスモニター制度については、利用者の目線から運転者の接遇やバスの乗り心地などの生の声をいただき、バスの運行改善につなげていく狙いがある。

委員	重伝建は、おかげ横丁のような姿を狙っているのか、それとも古い建物が並んでいるだけの博物館のような姿を狙っているのか。 おりひめバスモニターについては、運転手の接遇などについて、従来から意見箱のようなことをやっているが、どうしてそうなるのか、原因の解決にはならないと思う。本日公共交通の会議に出席し、その中で交通計画を作るという話があった。この計画を作ると国から補助金がもらえるのだと思うが、桐生市は、計画を作って補助金をもらえればいいのではなくて、補助金がなくなっても持続可能な公共交通体系を作らなければならない。なので、おりひめバスを始め公共交通の維持を可能にする意見を集めるようなグレードのものにする必要があると思うが、いかがか。
事務局 (部長)	重伝建地区については、古い建造物を残すと同時に、桐生市の観光資源として生かしていきたいと考えている。 おりひめバスモニター制度を創設した一番の理由としては、昨年度お騒がせしてしまったバスの運転士の接遇の問題があり、事態を知りたいということがある。あわせて、乗り心地や運転経路などの意見をいただき、改善につなげてまいりたいと考えている。公共交通を持続可能にするための意見についても、今後運用する中で検討してまいりたい。
委員	重伝建地区については、そこに生活の場があって、生きているまちでないと、外から人は呼び込めないと思うので、ただ古い建物を残しておくだけということがないよう、新たに配置された重伝建コーディネーターを中心に考えていていただきたい。 おりひめバスモニター制度は、今のような内容であれば、特に予算を取って実施するようなことではないと思う。実際に市民の行動変容につながるような取組にお金を使っていたきたい。
市長	重伝建地区については、委員のおっしゃるとおりである。当該地区は、重伝建地区と日本遺産の両方に登録されており、重伝建地区は保存・保全、日本遺産は活用ということで、相反するものになっており、国との調整が難しい部分もあるが、桐生市の歴史的資産を生かしたまちづくりを重伝建地区の将来の姿にしてまいりたい。 公共交通については、私も委員のおっしゃるようなことが必要だと思っている。具体的には、公共交通が交通弱者のためや生活の足ということだけではなくて、全ての人がゆとりのある生活を送るために公共交通を使うような、市民の行動変容を促せるような取組をしていくべきだと考えている。
委員長	公共交通に関しては、群馬大学もリモート運転技術を研究しており、時速19キロのMAYUであれば、パブリックな5Gが入ればできるのではないかとされている。是非そういったものを生かし、公共交通を充実したものにしていただきたい。

委員	基本目標４の「地域の特徴に応じたまちづくり」とあるが、「ゆっくりズムのまち桐生」や桐生市第六次総合計画の「感性育み 未来織りなす 粋なまち桐生」なども感じ取れるような計画にした方がいいと思うが、どうか。
事務局 (部長)	ゆっくりズムはまだ概念であり、具体的な取組はまだ確立されていないので、計画には盛り込んでいない。しかし、今般指定されたSDGs未来都市ではゆっくりズムのまちを掲げているので、今後こちらの計画に沿って進めていくことになる。 また、「感性育み 未来織りなす 粋なまち桐生」については、桐生市第六次総合計画の中での全体的な取組に対してのビジョンということでご理解いただきたい。反映については、これから総合計画の後期計画を進めていく中で進めていきたいと考えているので、ご理解いただきたい。
委員	公共施設マネジメントについて、何年か前に「公共施設等総合管理計画」が策定され、市民一人当たりの公共施設の延べ床面積が類似団体に比べてとても多いので、大幅に縮減するという計画になっていたと思うが、どの程度進捗しているのか教えていただきたい。
事務局 (部長)	具体的な計画については、個別計画を策定し、それに沿って進めていくことになるが、現在個別計画の策定中である。この個別計画が遅れている要因としては、みどり市と共同で使用している施設があり、その施設が老朽化している中で今後どのような大きさになるかなど、みどり市と協議しなければならず、今後みどり市と協議しながら個別計画を策定していくことになる。
委員	みどり市と共同利用している施設以外の桐生市単独の施設についてはいかがか。
事務局 (部長)	個別計画は、施設の類型別に策定することとなるが、これから施設の複合化なども考えていく中で、一部決まってない施設があると全体のバランスが取れなくなってしまうので、一部だけ先行して進めることはできない。そのような中、廃止できるものは廃止していくという方向では動いている。
委員	難しい問題であることは理解した。しかし、施設の年数が経っている中で、あとどれくらいで計画ができ、実行されるのかというのは市民としては非常に注目しているところであるので、なるべく速やかに進めていただきたい。

(２)「第２期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂について

- ・資料６に基づき、事務局から説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

委員長	新しい計画の名称に「デジタル田園都市構想」という名称は入るのか。
-----	----------------------------------

事務局 (課長)	まだ仮称ということで、どのような名称になるかは決定してない。
委員長	デジタルといえば前橋市がかなり進んでいるが、桐生市でも良い取組ができると思うので、より良い計画を作っていきたいと思う。 まだ発言してない委員で、この議題の内容に関わらず何かあるか。
委員	SDGs 未来都市に選定されたので、計画に反映しないのか質問しようと思ったが、今後総合計画の策定の中で検討していくと先に事務局が言ってくだったので大丈夫である。素晴らしい取組なので、桐生の特色として今後の計画の中に入っているといいと思う。
委員	新たに開設した「シェアオフィス 1000」や今度開設する「桐生市移住支援フロント むすびすむ」はキッズバレイが担わせていただいております、委員会の皆様からの意見を聞かせていただきながらやっていきたいと思っている。先日もベーグル屋さんが商店街にオープンして早速行列ができていますが、市外から来た人が桐生市の賑わいや魅力を作ってくれている部分もある。これからそういった人を呼び、更に外へ魅力を発信できるような取組を展開してまいりたい。

4 その他

- ・事務局から、次回の開催日程について事務連絡。

5 閉 会 [終了：午後 8 時 3 0 分]